

取扱説明書 No.2211

この度は「タップ&ダイスセット」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みいただき、理解していただいた上でご使用ください。
- 取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。
- 万一、取扱説明書を紛失、汚損された場合、または保管用として別途、取扱説明書をご入用の方は弊社までお申しつけください。

お買い求めの製品や取扱説明書の内容について、不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までお問い合わせください。

注意文の警告マークについて

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止する為、必ずお守りいただく内容を下記の要領で説明しています。

- 説明内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害を次の区分で表示し、説明しています。

警告	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容のご注意。

尚、**注意**に区分した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

ご使用上の注意

必ずお守りください

- この製品はねじを切ったりねじ山を修正するタップ&ダイスセットです。この目的以外に使用しないでください。

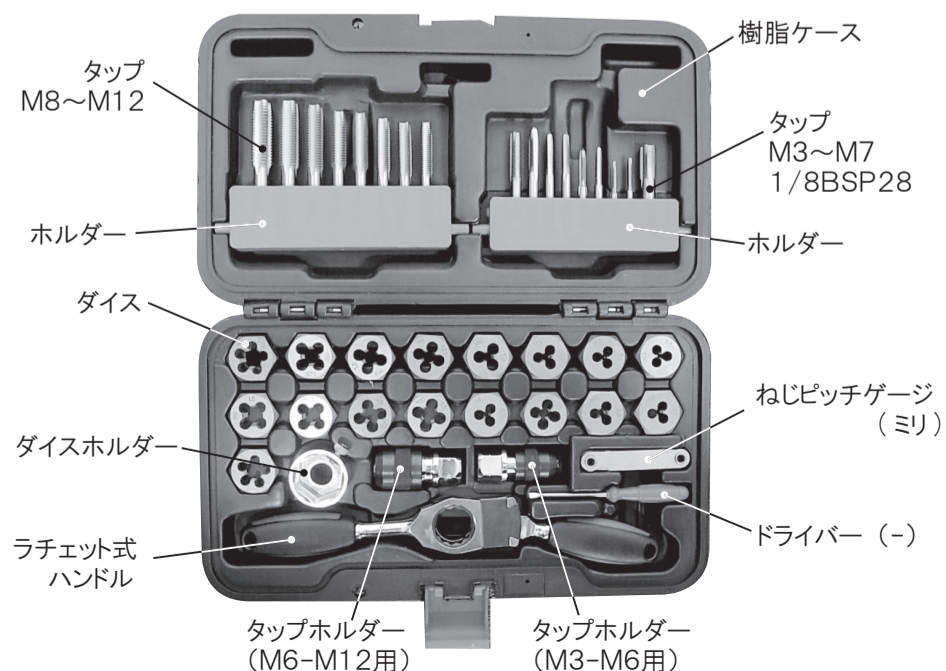
警告

- 高所作業では必ず落下防止の処置をしてください。
- 本製品は絶縁されていません。通電中の作業はしないでください。
- 作業時は、必ず保護メガネを着用してください。
- 破損の原因となるので、熱処理された硬い素材にはタップやダイスを使用しないでください。
- タップをホルダーから取り外す場合、素手でタップの刃部を触らないでください。

注意

- 使用するタップに合った適切な下穴を開けてください。
- タップは材料が硬いので、少しでも斜めになった状態でタップをたてる作業を行うと簡単に折れてしまいます。
- タップやダイスが材料にまっすぐあたるようにしてください。
- タップやダイスの中に切り屑がたまらないように、少し送っては(時計回り)少し戻す(反時計回り)作業を繰り返し行ってください(切削油を塗布する)。
- タップやダイスを使用したあとは、ねじ部に切り屑などが無いように清掃してから保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 内容品は樹脂ケースに収納されていますが、ケース内では固定されていません。ケースの開け方によっては内容品がバラバラになりますのでしっかりと開閉してください。
- 割れ、欠け、磨耗、変形などの異常があれば使用しないで下さい。
- 改造しないで下さい。
- 無理な姿勢で作業しないで下さい。

各部の名称



内容品

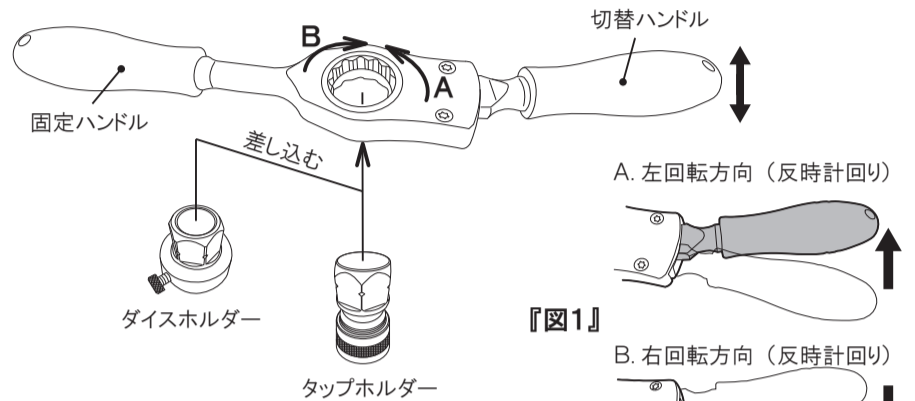
●ラチェット式ハンドル	×1	●ダイスホルダー	×1
●タップホルダー (M3-M6用)	×1	●ドライバー (-)	×1
●タップホルダー (M6-M12用)	×1	●ねじピッチゲージ (ミリ)	×1
●タップ&ダイス	×1		

M3×0.5, M3×0.6, M4×0.7, M4×0.75, M5×0.8, M5×0.9, M6×1.0, M7×1.0, M8×1.25, M9×1.0, M9×1.25, M10×1.25, M10×1.5, M11×1.5, M12×1.5, M12×1.75, 1/8BSP28

使用方法

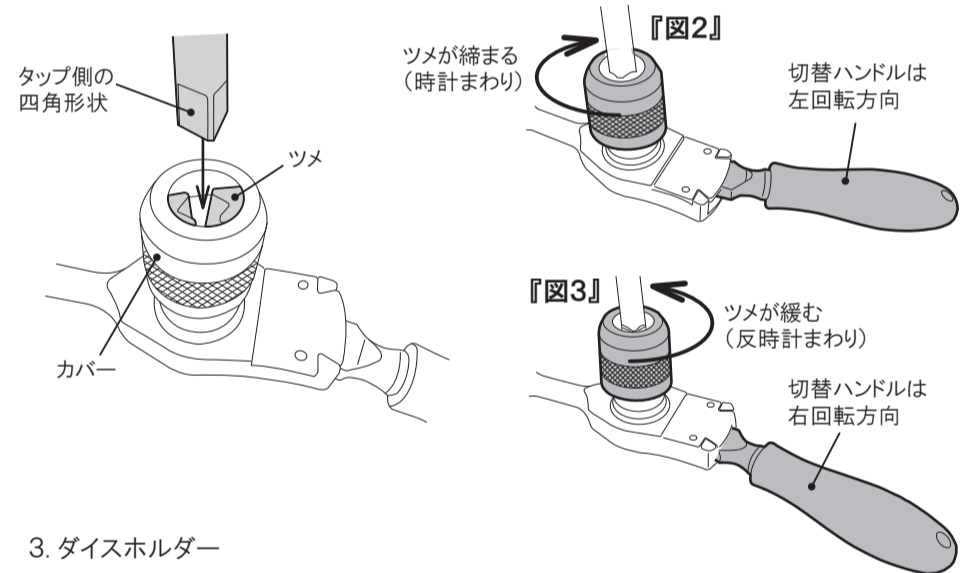
1. ラチェット式ハンドル

- 付属のタップホルダーまたはダイスホルダーを差し込みます。
- 作業の内容により、切替ハンドルで回転方向の切り替えを行います。回転方向は図1の通りです。



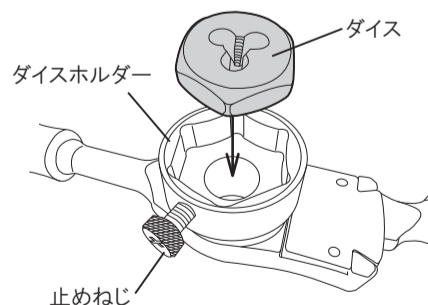
2. タップホルダー

- ラチェット式ハンドルにタップホルダーを差し込みます。
- タップ側の四角形状とタップホルダーのツメがあうようにカバーを調整します。
- タップを差し込んだら、図2のようにしてカバーをしっかりと締め付けてください。緩める場合は図3のようにするとラチェット部が回りません。
- タップと下穴が90° (直角) になるように差し込んでください。
- 差し込んだら、ゆっくりタップの中に切り屑がたまらないように、少し送っては (時計回り) 少し戻す (反時計回り) 作業を繰り返し行ってください。※切削油の塗布を忘れないようにしてください。



3. ダイスホルダー

- ラチェット式ハンドルにダイスホルダーを差し込みます。
- ダイスホルダーの止めねじを緩め、ご使用になるダイスを取り付け、止めねじでしっかりと固定します。
- ダイスとねじ又はボルトが90° (直角) になるように差し込んでください。
- 差し込んだら、ゆっくりダイスの中に切り屑がたまらないように、少し送っては (時計回り) 少し戻す (反時計回り) 作業を繰り返し行ってください。※切削油の塗布を忘れないようにしてください。



- 予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。
- Specifications may be changed without notice. Modification of instruction manual will be substituted for the notice.

TONE TONE株式会社

〒586-0026 大阪府河内長野市寿町6番25号 Web Site: <https://www.tonetool.co.jp>
TEL (0721) 56-1850 FAX (0721) 56-1851 e-mail: ko-eigy@tonetool.co.jp



TONE TONE CO., LTD.

6-25, KOTOBUKI-CHO, KAWACHINAGANO-SHI, OSAKA 586-0026, JAPAN Web Site: <https://www.tonetool.co.jp>
e-mail: overseas@tonetool.co.jp

